

科目名	SPI対策 I -①						
科目名(英)	Synthetic Personality Inventory						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	乗鞍 弘毅		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	進学塾講師		
対象学科・学年	エアライン1年						
授業概要	言語分野では、言葉の意味や話の要旨を的確にとらえて理解できる力を養い、非言語分野では、数的な処理や、論理的思考力養う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					SPI3の形式の言語問題に慣れ、言語知識を増やす。	
		○				SPI3頻出の非言語問題の解法を学び、基本問題を確実に解く。	
テキスト・教材 参考図書	全解SPI実践問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	§ 1-1 鶴亀算	§ 2-1 同意語	理解できなかった問題を繰り返す。			
	2	§ 1-2 年齢算	§ 2-2 反対語	理解できなかった問題を繰り返す。			
	3	§ 1-3 濃度算	§ 2-3 二語関係(1)	理解できなかった問題を繰り返す。			
	4	§ 1-4 仕事算	§ 2-3 二語関係(2)	理解できなかった問題を繰り返す。			
	5	§ 1-5 水槽算	§ 2-4 複数の意味	理解できなかった問題を繰り返す。			
	6	§ 1-6 植木算	§ 2-5 語句の意味	理解できなかった問題を繰り返す。			
	7	§ 1-7 損益算	§ 2-6 ことわざ・慣用句	理解できなかった問題を繰り返す。			
	8	§ 1-8 速度算			理解できなかった問題を繰り返す。		
	9	§ 1-9 通過算			理解できなかった問題を繰り返す。		
	10	§ 1-10 流水算			理解できなかった問題を繰り返す。		
	11	§ 1-11 精算			理解できなかった問題を繰り返す。		
	12	§ 1-12 割合			理解できなかった問題を繰り返す。		
	13	§ 1-13 順列・組み合わせ・確率			理解できなかった問題を繰り返す。		
	14	重点復習(1)					
15	重点復習(2)						
評価方法	期末テストの点で100%評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	接遇マナー						
科目名(英)	Manners and Etiquettes						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界に必要なマナーの基本を身につけ、専門分野の知識をより活かすためのサービススタッフの育成をめざす						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○	○		身だしなみのマナーを身につけ、スーツをきちんと着こなし、清潔感のあるメイクをすることができる。	
			○	○		表情を意識して基本動作練習(立ち方、座り方、歩き方)がきちんとできる。	
	○			○		自己紹介の仕方を学び、笑顔で明るく自己紹介が実践できる。	
	○			○		言葉遣いが正しくできる。	
		○	○			面接時の動きがスムーズに表情を意識しながら感じ良くすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	・ビジネス実践マナー ・プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	メイクの仕方・挨拶の練習				教科書の該当範囲確認し日頃より実践すること	
	2	挨拶の練習・傾聴の姿勢・第一印象の大切さ				教科書の該当範囲確認し日頃より実践すること	
	3	自己紹介の仕方				教科書の該当範囲確認し日頃より実践すること	
	4	面接の受け方(表情・挨拶・入退室の練習)①				教科書の該当範囲確認し日頃より実践すること	
	5	面接の受け方(表情・挨拶・入退室の練習)②				教科書の該当範囲確認し日頃より実践すること	
	6	面接の受け方(表情・挨拶・入退室の練習)③				教科書の該当範囲確認し日頃より実践すること	
	7	面接時の受け方(自己PRの仕方)				教科書の該当範囲確認し日頃より実践すること	
	8	まとめ				教科書の該当範囲確認し日頃より実践すること	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で実技テストを実施する。(2)授業態度では積極的な質問、発言を重視する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験	○	○		○		50%
	授業態度	○	○		○		50%
履修上の注意							

科目名	航空実務 A						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	波多野 里美		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	航空業界を取り巻く様々な社会情勢を把握し、航空業界の基礎的な業務知識を身に付ける。また、航空会社の様々な仕事についての内容を学習し、航空業界で働いていくために必要な基礎知識について理解を深める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空会社を取り巻く、様々な社会状況を理解し、説明することができる	
	○					空港内の機能・空港の呼称について理解し説明することができる	
		○				飛行機に関連する機能や専門知識について、説明ができ状況を把握することができる	
		○				航空業界関連の専門用語について、説明ができ、使用することができる。	
	○			○		グランドスタッフの仕事について、仕事内容を理解し説明ができる。初歩的なカウンターサービスを演習で実践することができる。	
テキスト・教材 参考図書	ANAグランドスタッフ入門						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	航空業界をとりまく仕事・役割について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	航空業界をとりまく仕事・役割について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	日本各地の航空会社と空港名について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	日本各地の航空会社と空港名について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	国内空港の分布・3レター				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	国内空港の分布・3レター				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	空港の機能と呼称について				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	空港の基礎知識・飛行機についての基礎知識				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	空港の基礎知識・飛行機についての基礎知識				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	日本のエアライン・外資エアライン・国際空港の分布				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	11	グランドスタッフの仕事-仕事内容・旅客ハンドリング業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	グランドスタッフの仕事-仕事内容・旅客ハンドリング業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	グランドスタッフの仕事-仕事内容・旅客ハンドリング業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	グランドスタッフの仕事-旅客ハンドリング業務				授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
評価方法	(1) 学年末試験(筆記)を実施する。(2) 授業の中で小テストを3回実施する。(3) 演習の対応力以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学期末試験	○					70%
	小テスト	○					15%
	演習	○	○		○		15%
履修上の注意	毎回、各航空会社の時刻表・地図帳を持参してください。資料プリント等を配布しますので、専用ファイルを持参してください。出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	GCB I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	麻生塾生としての自分のあり方とを学び、感謝や思いやりがなぜ大切なのかを考える。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				キャリア実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間力)であることを知る	
	○	○				「感謝心」が人間力の根底にあることを知る	
		○				人間力を高めるためのマナーの重要性に気づく	
テキスト・教材 参考図書	Global Citizen Basic I 学生用テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	グローバル・シティズンを目指そう				教材を読んでおきましょう。	
	2	「協働」の態度を持った学生生活				教材を読んでおきましょう。	
	3	よりよい人間関係の構築に向けて モラル・ルール・マナーの重要性				教材を読んでおきましょう。	
	4	マナーの本質 I				教材を読んでおきましょう。	
	5	マナーの本質 II				教材を読んでおきましょう。	
	6	グローバル・シティズンとしての日常				教材を読んでおきましょう。	
	7	グローバルシティズンとしての目標				教材を読んでおきましょう。	
	8	グローバルシティズンとしての「志」に向けて				教材を読んでおきましょう。	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)提出物は毎授業後に作成・提出するレポート内容、提出期限の厳守で評価する。 (2)授業態度は積極的な発言・質問で評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は、R(単位認定)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		50%
	提出物		◎		○		50%
履修上の注意	授業の感想は毎回記入し提出						

科目名	エアラインゼミ I						
科目名(英)	Preparation for Job training I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	国際社会における日本の航空業界では高い接客スキルが求められる。航空業界に必要なマナーの基本を身につけ、専門分野の知識をより活かすためのサービススタッフの育成をめざす。社会人になる上でのマナーや身だしなみ、教養知識を身につける。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○		○		身だしなみのマナーを身につけ、スーツをきちんと着こなし、清潔感のあるメイクをすることができる。	
		○		○		表情を意識して基本動作練習(立ち方、座り方、歩き方)がきちんとでき、接客対応ができる。	
	○					基本的な航空用語を理解し説明することができる。	
	○		○	○		言葉遣いが正しくでき、接客ロールプレイングができる。	
○			○			報告連絡相談の徹底、遅刻・病欠の対応・貸与物の管理の意識を持ち、行動する意欲がある。	
テキスト・教材 参考図書	・プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	実習前研修 I (実習名簿・身だしなみ・事前学習・心構え)			学んだことは日頃から実践してください		
	2	実習前研修 I (実習名簿・身だしなみ・事前学習・心構え)			学んだことは日頃から実践してください		
	3	実習前研修 II (心構え・報告連絡相談み・事前学習・病欠/遅刻対応・貸与物の管理)			学んだことは日頃から実践してください		
	4	実習前研修 II (心構え・報告連絡相談み・事前学習・病欠/遅刻対応・貸与物の管理)			学んだことは日頃から実践してください		
	5	実習前研修 III (心構えレビュー・身だしなみ再確認・ロールプレイング)			学んだことは日頃から実践してください		
	6	実習前研修 III (心構えレビュー・身だしなみ再確認・ロールプレイング)			学んだことは日頃から実践してください		
	7	実習前研修 III (心構えレビュー・身だしなみ再確認・ロールプレイング)			学んだことは日頃から実践してください		
	8	実習前研修 IV (亀谷校長代行より話・最終確認テスト)			学んだことは日頃から実践してください		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業態度は積極的な発言・質問で評価する(2)授業出席で確認する(3)指示通りの提出物で評価し、宿題・レポートを数回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		30%
	出席				◎		20%
	提出物状況				◎		50%
履修上の注意							

科目名	一般教養 I - ①						
科目名(英)	Common sense						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	麻生にて人文科目を指導		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	日本という社会において意思疎通を図れる用語や計算を駆使することができるようことを目指す。また日本社会はもちろん外国の社会の仕組みやその役割・機能を理解習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日本国民としての社会を理解する基本用語の理解ができる。	
		○				社会のシステムを理解してその一員であることを認識する。	
				○		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組む姿勢を持つ。	
テキスト・教材 参考図書	わかる！一般常識(新星出版社) トレーニングコース基礎指導5回コース(実務教育出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	政治			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	経済			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	国際			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	社会			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	科学技術			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	文化・スポーツ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	国語			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	地理・歴史			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(3)学習意欲(居眠り・私語)は減点(3)宿題・レポートを毎回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	学習意欲	○	○		◎		10%
	宿題・レポート	○	◎		◎		30%
履修上の注意							

科目名	サービス接遇					
科目名(英)						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	夏山恵	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	接客業に就く上で必要なビジネスマナーの基礎知識を学びサービススタッフとしての心構えを習得する。 サービス接遇検定2級の合格を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○		○			ビジネスマナーの基本を身につけ実践することができる。
	○	○				サービススタッフとしての心構えを理解し説明することができる。
	○	○				サービス接遇検定2級を取得することができる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田教育出版 サービス接遇検定2級公式テキスト ・早稲田教育出版 サービス接遇検定1, 2級実問題集 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業のガイダンス-授業の基本方針とスケジュールの説明 自らの動機とゴール設定の明確化				
	2	サービススタッフに必要とされる要件			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	3	従業要件			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	4	サービス知識			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	5	従業知識			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	6	社会常識			従業知識で学んだ用語のテストを実施するので復習しておくこと	
	7	対人常識			社会常識で学んだ用語のテストを実施するので復習しておくこと	
	8	接遇知識			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	9	接遇者としての話し方			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	10	敬語、服装			接遇者としての話し方で学んだ用語のテストを実施するので復習しておくこと	
	11	問題処理			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	12	環境整備			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	13	金品管理、金品搬送			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	14	社交業務			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	15	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	16	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	17	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	18	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	19	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	20	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	21	練習問題と補足			教科書の該当範囲を事前に読んでくること	
	22	模擬テスト			授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと	
	23	定期テスト			授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと	

評価方法	(1)授業の中で小テストを3回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 (3)授業への参加状況(発問に対し自ら考える姿勢、発言)。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	授業への参加態度				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I - ① (A1クラス)						
科目名(英)	Practical English I - ① (A1 Class)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	外資系企業の秘書として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解することができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
	○					様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解することができる。	
	○					ビジネス文書や記事を読み、内容を理解することができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC Listening&Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、TOEICテストの概要と学習方法、聴解の勉強方			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	2	Listening(Section1&2)、Reading Part 5(語彙①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	3	Listening(Section3&4)、Reading Part 5(語彙②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	4	Listening (Section 5&6)、Reading Part5(文法 品詞①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	5	Listening(Section7&8)、Reading Part5(文法 品詞②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	6	Listening(Section9&10)、Reading Part6(長文空所問題①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	7	Listening(Section11&12)、Reading Part6(長文空所問題②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	8	Listening (Section 13&14)、Reading Part7(長文読解①)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	9	Listening (Section 15&16)、Reading Part7(長文読解②)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	10	Listening (Section 17&18)、Reading Part7(長文読解③)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	11	Listening (Section 19&20)、Reading Part7(長文読解④)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	12	演習問題 Test 1 (Listening)、解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	13	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説①			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	14	演習問題 Test 1 (Reading)、解答解説②			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	15	公式問題分野別学習 Reading:Part 5 Listening:Part 1			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	16	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	17	Reading:Part 5 Listening: Part 2			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	18	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	19	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	20	Reading:Part 6 Listening: Part 3			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	21	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	22	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	23	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	24	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	25	Reading:Part 7 Listening: Part 4			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	26	総合問題 Test 2 (Listening)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	27	総合問題 Test 2 (Listening) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	28	総合問題 Test2 (Reading)			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	29	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
	30	総合問題 Test2 (Reading) 解答解説			次回学習範囲を予習し、当日の復習を行う。		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 (4)検定結果以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 TOEICの受験結果を評価する。450点以上を100点、425点~445点を90点、400~420点を80点、360~395点を70点、270点以上を60点以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト(単語テスト)	○	○				25%
	朝自習プリント・宿題	○	○		○		15%
TOEIC検定	○	○				10%	
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語 I - ① (A2クラス)						
科目名(英)	Practical English I - ① (A2 Class)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	深川信子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	予備校・塾にて英語講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					TOEIC問題を解く際に必要な文法を理解することができる。	
	○					TOEIC頻出単語・熟語を覚え、使用する事ができる。	
		○				様々な国の発音に慣れ、話の内容を理解することができる。	
		○				ビジネス文書や記事を読み、内容を理解することができる。	
テキスト・教材 参考図書	・TOEIC Listening&Reading 問題集5 (国際ビジネスコミュニケーション協会) ・TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) ・TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、文法: unit1、Listening: Part1					
	2	文法: unit2、-4 Listening: Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	3	文法: unit5-7 Listening: Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	4	文法: unit8-10 Listening: Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	5	文法: unit11-13 Listening: Part2			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	6	文法: unit14-16 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	7	文法: unit17-19 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	8	文法: unit20-22 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	9	文法: unit23-25 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	10	文法: unit26-28 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	11	文法: unit29-31 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	12	文法: unit32-34 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	13	文法: unit35-37 Listening: Part3			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	14	文法: unit38 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	15	Reading: Part5 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	16	Reading: Part5 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	17	Reading: Part5 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	18	Reading: Part6 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	19	Reading: Part6 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	20	Reading: Part6 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	21	Reading: Part6 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	22	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	23	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	24	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	25	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	26	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	27	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	28	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	29	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
	30	Reading: Part7 Listening: Part4			該当範囲内のわからない単語は調べておくこと、リスニングCDの該当部分を確認		
履修上の注意	(1)定期試験(筆記)を実施 (2)単語テストを毎週実施 (3)朝自習プリント、宿題等の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・辞書を持参(スマホ使用禁止) ・提出物は期限厳守 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語 I - ① (Bクラス)					
科目名(英)	Practical English for STEP 2nd Grade I - ① (B Class)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	蟻川 信三	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	福岡県立高等学校27年間勤務	
対象学科・学年	エアライン科1年生					
授業概要	就職活動の資格試験として、実用英語検定試験2級合格を目指します。英語検定2級の問題を中心に、リーディング・リスニングを中心に演習を行います。また、英文読解力・語彙の強化に努め、英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とします。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					語彙:英語検定2級レベルの語彙(約4000~5000語)の意味が理解できるようになる
	○					読む:まとまりのある説明文を理解し、実用的な文から必要な内容を読み取ることができるようになる。
	○	○				書く:日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができるようになる
	○					聞く:様々な内容の英語を理解し、正しく聴き取れるようになる
	○					話す:日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができるようになる
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 英検2級DAILY20日集中ゼミ ・旺文社 できる順パス英検2級 1700語					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	プレースメントテスト 4/13				
	2	プレースメントテスト(FBを行う) & 英検2級の概要説明 4/14				
	3	序説:名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素(S/V/O/C/M) 4/16			左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること	
	4	序説:英語の5文型と文の構造 4/20			各文型の基本構造を言えるように覚えること 「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう	
	5	1日目:短文の語句空所補充問題①(単語)解説&問題 4/21			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	6	2日目:短文の語句空所補充問題②(熟語)解説&問題 4/23			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	7	3日目:短文の語句空所補充問題③(文法)解説&問題 4/27			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	8	4日目:短文の語句空所補充問題④(語法)解説&問題 4/28			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	9	5日目:長文の語句空所補充問題①解説&問題「A」・「B」4/30			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	10	6日目:長文の内容一致選択問題①解説 5/7			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	11	6日目:長文の内容一致選択問題①問題「A」・「B」 5/7			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	12	7日目:長文の内容一致選択問題②解説 5/11			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	13	7日目:長文の内容一致選択問題②問題「A」・「B」 5/11			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	14	8日目:英作文の問題① 解説 5/12			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	15	8日目:英作文の問題① 問題 5/12			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	16	9日目:会話の内容一致選択問題① 解説&問題 5/14			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	17	10日目:文の内容一致選択問題① 解説&問題 5/18			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	18	11日目:【応用】短文の語句空所補充問題単語⑤ 5/18			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	19	演習:リスニング特訓① 5/19			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	20	12日目:【応用】短文の語句空所補充問題熟語⑥ 5/19			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
	21	13日目:【応用】短文の語句空所補充問題文法⑦ 5/21			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること	
22	14日目:【応用】短文の語句空所補充問題語法⑧ 5/21			「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること		

	23	演習:リスニング特訓②	5/25	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	24	15日目:【応用】長文の語句空所補充問題②-A	5/25	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	25	15日目:【応用】長文の語句空所補充問題②-B	5/26	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	26	演習:リスニング特訓③	5/26	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	27	16日目:【応用】長文の語句空所補充問題③-A	5/28	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	28	16日目:【応用】長文の語句空所補充問題③-B	5/28	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	29	演習:リスニング特訓④	5/29	「英検2級集中ゼミ」を予習してくるよう。事前に知らない単語を調べて、授業後はしっかりと覚えること			
	30	前期定期考査(筆記)	5/29				
評価方法	① 定期考査を実施する(筆記) ② 月曜日から金曜日まで、毎朝授業前に単語の小テストを行う ③ 宿題を数回課す。④ 授業態度(授業中の取り組みや発表)を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する 成績評価基準は S:90点以上 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:59点以下 とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題・レポート	◎	○		○		5%
授業態度	◎	○		○		20%	
履修上の注意	①授業前の予習は必ず行うこと。復習より予習の方が大切である。 ②辞書(電子辞書可)を必ず持参すること。 ③筆記用具は必ず持参すること ④授業中のスマホ等の使用は絶対に禁止!(スマホ等での辞書アプリ禁止)						

科目名	実用英語 I - ①(C1クラス)					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	内丸 誌帆	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	専門学校にて講師として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 1年					
授業概要	英検準2級合格を目標とする。 基本的な文法・単語を理解し、ホテル・空港、またそれに準ずる業務に必要な最低限度の英語力を身につける。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					準2級程度の文法を理解し、過去問題を解くことができる。
	○	○				頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる
				○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる
テキスト・教材 参考図書	旺文社 2020年度版 英検準2級 過去6回 全問題集／でる準パス単 英検準2級					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	実用英語1	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	2	実用英語2	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	3	実用英語3	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	4	実用英語4	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	5	実用英語5	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	6	実用英語6	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	7	実用英語7	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	8	実用英語8	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	9	実用英語9	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	10	実用英語10	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	11	実用英語11	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	12	実用英語12	英作文問題① / リスニング		単語テストに向けた学習	
	13	実用英語13	英作文問題① / リスニング		単語テストに向けた学習	
	14	実用英語14	英作文問題② / リスニング		単語テストに向けた学習	
	15	実用英語15	英作文問題② / リスニング		単語テストに向けた学習	
	16	実用英語16	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	17	実用英語17	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	18	実用英語18	短文の語句空所問題		単語テストに向けた学習	
	19	実用英語19	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	20	実用英語20	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	21	実用英語21	会話文の文空所補充		単語テストに向けた学習	
	22	実用英語22	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	23	実用英語23	長文の語句空所補充		単語テストに向けた学習	
	24	実用英語24	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	25	実用英語25	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	
	26	実用英語26	長文の内容一致選択		単語テストに向けた学習	

	27	実用英語27 英作文問題① / リスニング	単語テストに向けた学習				
	28	実用英語28 英作文問題① / リスニング	単語テストに向けた学習				
	29	実用英語29 英作文問題② / リスニング	単語テストに向けた学習				
	30	実用英語30 学期末試験					
評価方法	(1) 定期試験(2) 小テスト(3) 宿題・宿題(レポート提出物)を実施し、これを以下の観点で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				30%
	宿題・レポート		○				20%
履修上の注意	課外だけでなく講義内でも単語テストを実施し、期末の成績に反映されるので自宅学習を徹底すること						

科目名	実用英語 I -① (C2クラス)					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	波多野 里美	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務	
対象学科・学年	エアライン科 1年					
授業概要	英検過去問題の文法、読解、リスニング、ライティングと徹底的に学習することにより、英検準2級合格を目指します。毎朝、朝課題として英単語と英熟語を学習してください。毎回リスニングを実施します。テキスト英検準2級過去問題集を徹底的に取り組みますので各自、予習・復習を実施すること。何度も学習することにより、日常生活に必要な英語を理解し、活用することが出来るレベルを目指します。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					英検準2級の合格を目指す。
	○					英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。
	○					英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。
	○					英検準2級の文法・読解を学習し、筆記問題に対応できる応用力をつける。
	○					英検準2級程度の英作文のスキルを身に付ける。
テキスト・教材 参考図書	・英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社) ・英検準2級をひとつひとつわかりやすく(学研)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・文法			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	7	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	8	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・短文の語句空所補充・文法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	12	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	13	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	16	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・読解			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	19	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	20	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	21	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	23	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	24	リスニング・長文の内容一致選択テキスト・読解			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		

	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	英語C-②クラス 学期末試験	前期の授業内容全般を復習しておくこと				
評価方法	(1) 学年末試験(筆記)を実施する。(2) 授業の中で小テストを4回実施する。(3) 宿題提出状況以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学期末試験	○					80%
	小テスト	○					10%
	宿題	○			○		10%
履修上の注意	授業に電子辞書または英語辞典を必ず持参してください。 出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I - ①(Dクラス)				
科目名(英)					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	夏山恵
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて国際線客室乗務員として勤務
対象学科・学年	エアライン科 1年				
授業概要	基本的な単語、文法を習得し、中学校卒業レベルの英語力を習得する。 出題形式に沿った演習と精聴リスニングの訓練を行い、英検3級取得を目標とする。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○	○			
	○	○			
	目標				
	1200語程度の単語、熟語を覚え、応用することができる。				
	テキストの課題文について9割以上英語で解答することができる。				
	テキストのリスニング内容をほぼノーマルスピードで聞き取り、音読することができる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・啓隆社 Baton Pass G1 ・旺文社 英検3級でる順パス単／英検3級出る順パス単書き覚えノート ・過去問題演習プリント ・ジャパントイムズ はじめての英語音読 				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	授業のガイダンス-授業の基本方針とスケジュールの説明、自らの動機とゴール設定の明確化			
	2	・現在時制、過去時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	3	・進行形、未来時制 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	4	・まとめ小テスト① ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	5	・疑問文、命令文、名詞、冠詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	6	・代名詞、助動詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	7	・まとめ小テスト② ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	8	・動名詞、不定詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	9	・形容詞、副詞、比較 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	10	・まとめ小テスト③ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	11	・受動態、現在完了形 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	12	・分詞、関係代名詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	13	・まとめ小テスト④ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	14	・文構造、否定疑問文、付加疑問文、間接疑問文 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	15	・前置詞、接続詞 ・リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	16	・まとめテスト⑤ ・リスニング			授業内容に関わる確認テストを実施するので、復習しておくこと
	17	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
	18	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと
19	過去問題演習と補足(リスニングを含む)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと	

	20	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	21	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	22	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	23	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	24	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	25	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	26	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	27	過去問題演習と補足(リスニングを含む)	教科書の該当範囲を事前に読み、わからない単語等は調べておくこと				
	28	実力完成模擬テスト①(筆記)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
	29	実力完成模擬テスト②(リスニング)	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
	30	定期試験	授業で学んだことを総復習してからテストに臨むこと				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを5回実施する。 (3)授業への参加状況(音読の取り組み姿勢や積極的な発言) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	小テスト	○	○				10%
	授業への参加態度	○			○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英会話 I -①						
科目名(英)	English Communication I -①						
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	English Teacher		
対象学科・学年	Airline 1st Grade						
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve Provide English skills for Everyday English to the work environment						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					To learn everyday vocabulary & remember key words	
		○				Study to give students confidence to express themselves	
				○		Encourage students to speak with confidence & positive attitude	
テキスト・教材 参考図書	Person to Person Third 1 Student Book with Audio CD, Talk a Lot BOOK1, Worksheets						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Self introduction&Getting to know each other					
	2	Talkopoly& personal information					
	3	Interests&Abilities					
	4	Talk about Family					
	5	How often?					
	6	Telling the time					
	7	Daily routine					
	8	Past simple					
	9	Leisure,Sports & Hobbies					
	10	Country trivia & Experiences					
	11	Airline English & Vocaburaly					
	12	Airport Roleplay					
	13	Airport discussion & Ask direction					
	14	Review&Test Preperation					
15	End of term Test						
評価方法	(1) Term Examination (2) Attitude and Participation in the class Evaluation: S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	態度・意欲				◎		50%
履修上の注意							

科目名	Word						
科目名(英)	Word						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	北島正幸		
実施年度	2020	実施時期	前期	担当者実務経験	国立大学法人にてテクニカルスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン1年						
授業概要	あらゆるビジネスシーンに最も活用されている「ワープロソフトMicrosoft Word」。そのWordの基本の習得を目指すとともにPCスキル並びにITリテラシーの向上を図ります。また、各回の授業の最初または最後に文字入力の練習を行います。講義終了後に行われる「サーティファイWord文書処理技能認定試験 3級」の合格を目指す。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Wordの日本語処理機能・編集機能を理解し応用することができる	
		○				Wordの日本語処理機能・編集機能を利用することができる	
		○				文字入力を10分間で300文字以上できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	Word2016クイックマスター（基本編） Word文書処理技能認定試験 3級 問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Introduction・typing・環境設定					
	2	Wordの基本・文字入力と編集の基本操作					
	3	文書の編集					
	4	文書の編集					
	5	文書の印刷					
	6	文書の作成					
	7	文書の作成					
	8	表を使った文書の作成					
	9	表を使った文書の作成					
	10	図形や画像を使った文書の作成					
	11	図形や画像を使った文書の作成					
	12	総復習					
	13	総合学習問題					
	14	総合学習問題					
15	期末試験						
評価方法	(1) 定期試験(検定試験) (2) 期末試験とレポート (3) 講義出席・練習問題・課題提出のすべてを実施した平常点 (3)を100点とし、期末試験・検定試験の点数との平均で行う。成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。検定試験の結果が不調(エラー等)または受験しなかった場合は別途担当教員から試験・またはレポートを課す。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(検定試験)	◎	◎				25%
	期末試験またはレポート	◎	◎				25%
平常点	◎	◎				50%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。15回の講義のあと補講がある場合がある。						

科目名	社会教養 I ー①						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につける。まずは、就職活動における企業研究・履歴書添削・面接指導を行い就職内定へ繋げる。また、クラスや学科行事を行い学科・学年を跨いで交流を深める事でコミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持する事ができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					就職活動における報連相を素早く行うことができる	
	○					好感もてる表情や口調で自身の伝えたいことを話し、企業の求める人材像に相応した面接ができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション(目標設定・クラスルール設定・各委員役割分担)				なし	
	2	学科行事(新入生歓迎会)				簡単な自己紹介や新入生が学校生活に馴染めるような場の設定やコミュニケーション方法を考えておくこと	
	3	就職活動指導①(就職活動状況報告・企業研究・受験準備)				説明会資料やパンフレットを準備しておくこと 企業HPをみっておくこと	
	4	学校行事準備①(役割分担・ディスカッション)				なし	
	5	就職活動指導②(履歴書作成)				履歴書に記載する内容をまとめておくこと	
	6	就職活動指導③(履歴書作成・添削)				履歴書の下書きをしておくこと	
	7	就職活動指導④(履歴書添削・面接対策)				履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと	
	8	就職活動指導⑤(履歴書添削・面接対策)				履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)提出物は各期限を設定する (2)ホームワークを数回実施する (3)自習・行事を数回実施し取り組み意欲・態度を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物				◎		50%
	ホームワーク				◎		20%
	自習・行事への意欲・第度				◎		30%
履修上の注意							

科目名	ペン字						
科目名(英)	Penmanship						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	入江 陽子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	書道講師歴36年		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	航空業界ビジネスマンとして、日常生活における硬筆書写の一般の知識・理解を深め、業務遂行時に実践できる基礎力を習得する。正しいペンの持ち方、姿勢を守り、書写することにより集中力をつける。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					正しい言葉づかいで自分の履歴を書くことができる。	
			○			書式に従って美しい文字で履歴書を書くことができる。	
			○			正しいペンの持ち方・姿勢で書写することができる。	
				○		集中力を持って取り組むことができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ペン字基本—基本点画・氏名の練習			氏名の練習をボールペンですておくこと		
	2	ペン字基本—基本点画・筆順			基本点画の練習を復習しておくこと		
	3	ペン字基本—字形の整え方			筆順を復習しておくこと		
	4	ペン字基本—平仮名・片仮名			字形を復習しておくこと		
	5	ペン字基本—数字・横書きを美しく書く			平仮名の復習しておくこと		
	6	履歴書—体裁よく書くコツ・下書き			履歴書の必要事項を調べておくこと		
	7	履歴書—練習(ペン書き)			履歴書の下書きをしておくこと		
	8	履歴書—清書			清書提出できるようにしておくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)小テストを実施する(2)授業の中で清書した履歴書を試験のかわりとして評価する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○		◎			20%
	履歴書	○		◎			80%
履修上の注意							

科目名	英語表現 I - ①						
科目名(英)	English expression I - ①						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	深川信子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	予備校・塾にて英語講師として勤務		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	英語面接の場面に必要な定型表現や慣用表現を覚え、英語で自己紹介ができるよう繰り返し練習します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				自己紹介を英語でできる。	
	○	○				面接の場面で使われる慣用表現や定型表現を覚え、使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	配布プリント等						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	シラバス確認、自己紹介①			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	2	自己紹介②			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	3	性格編			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	4	趣味編①			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	5	趣味編②			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	6	志望動機①			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	7	志望動機②			授業で学習した内容を暗記できるまで繰り返し練習しましょう		
	8	総復習			これまでの総復習、確認ロールプレイをします。		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)宿題・レポートを数回実施する (2)授業の中で発表を行う 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	宿題・レポート	◎	○		◎		50%
	発表	◎	○		◎		50%
履修上の注意	・スマホ使用禁止 ・授業で学習した内容を、暗記できるまで繰り返し練習する事						

科目名	空港実習						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	160時間	担当者	森永 久美子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験	航空会社にて客室乗務員として勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	エアラインゼミの授業において、実習先の事前研修を実施し、インターンシップに必要とされる基礎知識(専門用語や敬語、社会人としてのマナーなど)を身に付けていく。その後、空港における地上職(グランドスタッフ)の就業体験を通して、実践的スキルを習得する。						
授業形式	講義: Δ	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:Δ		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					空港での接客時に用いる敬語や言い回しを覚え、実際にお客様と会話することができる。	
		○				航空業界用語について学び、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
	○					自ら仕事を見つけ、社員に対して改善点を提案することができる。	
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	各企業でのインターンシップ(1~40)				シフト表を確認し、業務内容を把握しておくこと。	
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	実習先企業からの評価を基に、出勤状況を加味し、評価を行う。実習の単位認定評価(R評価)。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出勤状況				○		100%
履修上の注意	事前研修最終日に実施する確認テストで9割以上正解しないと、インターンシップに参加できない場合がある。						